

(特非) 環境パートナーシップいわて

気仙地域が廃食油の資源化により 里川・里海を保全する低炭素コミュニティ づくりのモデルとするプロジェクト

復興支援助成

2年目

実践

ローソクの科学講座
参加児童 177人

エコクッキング講座
参加者 260人

今年度計画の達成度 96%

目標達成度 60%



課題

地域での廃食油回収～利用までの円環をつくること。震災からの復興は住民に寄り添いつつ、地域において人と人がつながり、お互いの顔がみえる活動を進める必要がある。

目標

①廃食油による資源化量(バイオディーゼル燃料の精製量)が増加する ②廃食油の資源化に対する市民の理解が増える ③廃食油資源化活動を行う地域が増える

活動内容と成果

地元の団体とともに、各地域のコミュニティで天ぷら油の出し方講習を含めたエコクッキングや、学童クラブ向けの科学講座、大船渡産業まつり出展のほか、JC(青年会議所)のイベントや地元の若者グループとの連携など、活動の反響や手応えは着実に得られている。環境懇談会として、気仙地域の三自治体が協力する体制も生まれている。課題を多く抱える中で実施したバイオマスセミナーは満員御礼となり、今後の連携先の掘り起こしにつながる足がかりを得た。また、他県との交流では、様々なヒントが得られている。



苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

集めて- (燃料を) 作って- 利用する、というサイクルがまだできておらず、集めて・利用する、という活動を継続した。

■工夫した点

復興商店街でのグルメ屋台15店舗やイルミネーションイベントでB5燃料を使って発電機を動かかし、市民へのアピールを行った。

| 活動地域 |  岩手県

〒020-0124
岩手県盛岡市厨川5-8-6
電話：019-681-1904
E-mail：kanpai@utopia.ocn.ne.jp
<http://www.iwate-eco.jp/>



今後の
展望

地元の漁火イルミネーション実行委員会との交流が継続し、商工観光やまちづくりの観点での活動にも広がってきた。行政との協調関係の改善のために、市長への直接申し入れを行っており、変化に期待したい。

